

平成29年10月22日執行

牧之原市議会議員選挙公報

牧之原市選挙管理委員会

今、地方議員に質向上が迫られています。市長を監視するチェック機能や政策立案能力の向上。これらは、最も重要な議員の責務であり、強く推し進めていかなければなりません。しかし、牧之原市議会議員に対する市民アンケート、市議会議員に何を望みますか？の中で、圧倒的多数を占めている回答は、「住民の意見を吸い上げる事」<地域課題解決力>私には、市民の皆様、どのような声にもしっかりと耳を傾けて、ひたひたと誠実に取り組んで参ります。

「市民の安心・安全のため、一生懸命汗をかく」



牧之原市大寄五四八番地九
太田よしはる
六十一歳

原口やすゆきの取り組み

<p>産業・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸地域と港湾部の開発と整備 漁業振興策への取り組み 公共交通アクセスの充実 農業耕作放棄地の再生 	<p>教育・福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> 小、中学生の学力と体力の向上 子育て世代への政策の充実 老後生活を向上し健康寿命を延ばす 	<p>安心・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の移転を含めた安全対策 医療環境の整備 避難場所、避難方法の充実と確保
--	--	---



無所属
原口やすゆき
昭和三十八年八月九日生（五十四歳）

「子育て・教育」を軸に「医療・福祉」「高齢者支援」「防災」「公共施設の適正化」「歴史文化の顕在化」等を一連の歯車として動かし、安心・安全な暮らし、希望ある子供たちの将来のために「市民目線のまちづくり」を推し進めます。一期四年の任期中、常に「市民目線」を念頭におき、一生けんめい「まちづくり」に取り組んでまいりました。皆様、将来にわたり安心して暮らせるまち、住み続けられるまちの創出のために、引き続き諸課題に取り組んでまいります。

創出 市民目線のまちづくり②



昭和二十五年十一月六日（六六歳）
植田ひろみ

魅力あるまちづくりを目指す
・牧之原市の基幹産業であるお茶農家立て直しに取り組む
・安心して歳を取り楽しく老いたい安全と安心で幸福なまちづくり
・バイパス整備早期完工
延々として進まないバイパス整備に取り組む



澤田隆弘
さわだ たかひろ

- 1 財政健全化**
市の財政をもっとよくするために空港、港、15キロのロングビーチを使って観光産業を伸ばす
- 2 医療体制を見直す**
榛原総合病院を立て直そう徳洲会との協定を見直す
- 3 次世代の育成**
次代を背負う子供たちのために、祭り、スポーツや環境活動を通じ公平感、責任感、助け合いや思いやりを共に学ぼう



無所属 頑張る団塊
村田ひろひで
昭和22年8月28日 70歳


あした 牧之原市の未来をみなさんと一緒に！

一、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、市政のチェック＆バランスに努めます。

一、みなさんの声を市政に届け、市民によるまちづくりに努めます。

一、お茶の振興・防災・福祉・医療・教育高台開発に取り組みます。

現 牧之原市菊川市学校組合議会議長
現 大井水道企業団議会議議員
現 富士山静岡空港を育てる会代表
現 牧之原市日中友好協会副会長




中野やすゆき

牧之原市議会議員選挙の投票日は

10月22日

投票時間 午前7時から午後8時まで



投票日当日に仕事や旅行などの理由で投票できない方は、「期日前投票」ができます。

- 期 間 10月16日(月)～10月21日(土)
- 投票場所 榛原庁舎2階ラウンジ
相良庁舎3階会議室
- 投票時間 午前8時30分から午後8時まで

牧之原市選挙管理委員会・牧之原市明るい選挙推進協議会

平成29年10月22日執行

牧之原市議会議員選挙公報

牧之原市選挙管理委員会



明るい未来は市民の声で
吉田ふじお
昭和三十二年四月三日生七十歳

吉田ふじおお馬の思い

- 牧之原市の未来は市民自らの手で、市民の意見を十分に議会に反映させます。
- 榛原総合病院の診療体制の充実、経営の健全化に努めます。
- 浄化槽点検料、し尿処理料金の値下げを図ります。
- 相良庁舎の榛原庁舎への統合には反対します。

明るく強い絆の地域づくり



【静波】
大井しず子

基本に忠実

- ・地域住民の声を大切に行政につなげていきます。
- ・地域に密着した防災対策を推進していきます。
- ・子どもやお年寄りにやさしい福祉のまちづくりを推進していきます。
- ・長年の行政経験を生かし、地域の声をしっかりと聞き、しっかりと受け止め、その思いをしっかりと発信します。
- ・そして、皆様の声が行政の施策に反映し、より住みよい牧之原市の実現に向けて邁進してまいります。

【略歴】 牧之原市産業経済部長
牧之原市ソフトボール協会会長
牧之原市議会議員

平成29年10月22日執行

牧之原市議会議員選挙公報

牧之原市選挙管理委員会



共に未来を創り出す
はまざき
浜崎かずき
新人 無所属 (四十九歳)

「対話」と「絆」で 未来を切り開く

- 顔の見えるまちづくり
 - みんなでつくるまちづくり
 - 思いやりのあるまちづくり
 - 活力のあるまちづくり
 - 教育・芸術文化・スポーツ振興のまちづくり
- 私は、皆さんの力をかりながら、これらのまちづくりを目指してまいります。
共に未来を創り出していきましょう！



(fbページ)

(地域などでの活動歴)川崎小 PTA 会長、榛原中 PTA 副会長、まちづくり協働ファシリテーター、牧之原市社会教育委員、川崎地区絆づくり事業応援隊共同代表



郷土愛と行動力
久保なおき
昭和二十二年十一月十四日生(六十九歳)

- ◎安心な住み良い牧之原市を目指す
- ◎災害に強いまちづくり
 - ・各地区の避難地・避難路の増強
 - ・公共施設の適正化に合わせた避難所への規格化
 - ・各河川の改修及、防潮堤整備の促進
- ◎住み良いまちづくり
 - ・河川・海岸の自然環境保全・保護の促進
 - ・各地区の公園を幼児から高齢者が楽しめる場に充実
- ◎安心な福祉のまちづくり
 - ・若者夫婦が安心して働ける為の保育施設内容を充実
 - ・放課後学習教室をさらに充実
 - ・高齢者の在宅医療・在宅介護の支援体制促進
 - ・交通弱者の移動手段確立
- ◎地場産業・観光等活性化
 - ・茶園、水田の基盤整備事業促進
 - ・相良食堂の通年営業回数促進
 - ・恵まれた自然を生かしたイベント・バイク・マラソンの鉄人レースの企画化

いまこそ

くらしと福祉応援の市政を

- 高校までの医療費無料化
- 住宅リフォーム助成制度の復活
- 自主運行バス、デマンドタクシーの充実
- 国保税 1世帯 1万円 引下げ
- 学校給食費助成制度の創設

市の預金(財調基金)32億円の一部を使えば実現できます

- 浜岡原発の再稼働許しません
- 「県製茶指導取締条例」は廃止させません



日本共産党
藤野まもる

住みやすいまちづくり

新幹線空港新駅設置が実現できれば、空港とともに核となり、牧之原市は大きく変貌を遂げる。その実現に貢献したい。

子どもや若者、高齢者が住んでみたい、住み続けたい、そう思えるまちづくりをしていきたい。



無所属
良知よしひろ
昭和十九年七月二十五日生(七三歳)



須々木
名波よしひさ

“安心して 生き生き暮らせるまち”

命がなければ何もできません
命を守るためにも 更なる防災体制の充実と生活環境の充実に努めたい
命あってこそ

・地域産業の活性化が！
・生きがいのあるまちが！
一歩ずつ前進のために
市民みなさんの知恵・声を市政に反映します

活力ある牧之原市に！

1. 安全・安心な街に！
通学路の整備、防犯の街づくり
地震・災害に強い街
2. 現役世代が住みたい街に！
子育てしながら働ける街
女性の声をもっと市政に届く街
人が集まるイベントのある街
3. 福祉を支える街に！
高齢者が生きがいを持てる街

私は強い意志で取り組みます



鈴木ちづ子



昭和十九年五月廿日生(八三歳)
鈴木長馬

安心・安全な活気ある 牧之原市に！

至誠 まじめに真剣に
勤学 よく働き、よく学ぶ
分度 自分を知り、わかまえる
推譲 他人に奉仕する心

以上の事を基本理念として皆さまと共に、安心、安全な街を次の時代の子供たちのために、また素晴らしい郷土を作るため全力で尽くします。

私の家ではこの基本理念を120年前から続けています。

これまでの経験を生かして
市民の皆さんと共に街づくりを

介護の現場から提案

浜岡原発は永久停止

平和を守り憲法を生かします



無所属
大石かずお
(牧之原市中二七の七)

- ・1955(S30)年 旧榛原町に生まれる
- ・22歳 近畿大学法学部卒業
- ・30歳 生協職員を経て農業・介護ヘルパーに就く
- ・44歳 榛原町議会議員初当選(2期6年)
- ・50歳 牧之原市議会議員当選(3期12年)



未来のためにみんなで投票！

500% 真剣やる気！ 人口減少問題に 敢然と立ち向かう！

～課題を先送りにせず、良い循環を生む政策を～

- | | |
|---|--|
| 子どもたちのために <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な図書館設置 ・想像力を育む教育の推進 ・出産・育児の支援と環境整備 | 防災・減災 <ul style="list-style-type: none"> ・景観と環境に配慮した津波対策 ・冠水や土砂災害への対策 ・広域避難計画の策定推進 |
| スポーツ・文化・伝統 <ul style="list-style-type: none"> ・芝生グラウンドの整備 ・生涯学習事業への更なる支援 ・歴史・祭りなどの伝統を守る | 社会福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者への対応 ・医療過疎化を食い止める ・国民健康保険等の安定化を図る |

- 活性化(イベント・観光・産業)**
- ・市民一丸となって作り上げるイベント「〇〇全国大会」
 - ・沿岸部活性化計画の確実な遂行、観光拠点周遊の仕組みづくり
 - ・大規模消費圏をターゲットにしたシティセールスの推進



500% 真剣(マジ)やる気！
平口ともひこ
昭和四十七年九月九日生(45歳)